

給食試食会を実施しました

11月11日（金）に、1～3年生の保護者（希望者）を対象に、給食試食会を実施しました。

はじめに多目的室で、栄養士の本校職員による『学校給食について』と『食育について』の講話をしました。その後、子どもたちよりも少し早めに給食を食べていただき、児童の給食の様子を参観していただきました。

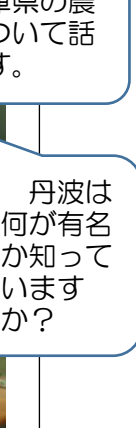


1～3年生の保護者の皆様、給食試食会への参加をどうもありがとうございました。
 そして、PTA 研修部の役員の皆様、給食試食会のお世話をどうもありがとうございました。
 今後も、安全安心な給食の実施に尽力いたします。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



食材学習支援事業（6年生）

11月11日（金）に、ゲストティーチャーとしてイチゴやブロッコリー、トウモロコシを育てておられる農家の方をお招きして、6年生が家庭科の学習をしました。



みなさん、農業についてどんなことを知っていますか？

但馬は、但馬牛が有名です。

兵庫県の農業について話します。

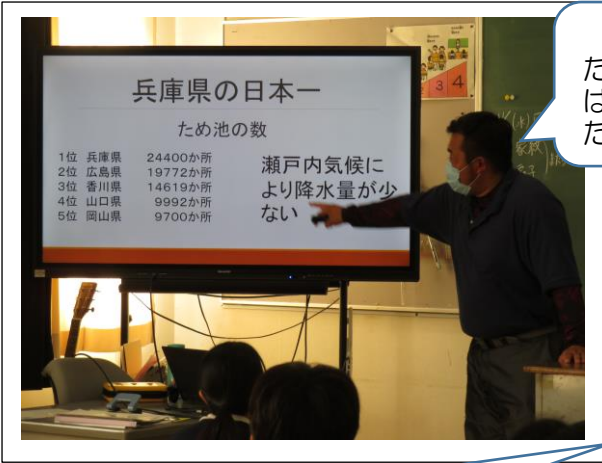
丹波は何か有名か知っていますか？

丹波は、丹波三宝と言われて、黒豆・栗・小豆が有名です。

阪神地区は、カーネーションが有名です。昔は、母の日にカーネーションの出荷が間に合いませんでした。それを間に合うようにしたのが、阪神地区です。

播磨は、米が有名です。

淡路は、タマネギが有名です。



兵庫県が日本一なのは何か知っていますか？
ため池です。米を作るのに水が必要なのです。兵庫県は、瀬戸内式気候で、降水量が少ないためたくさんのため池が作られています。

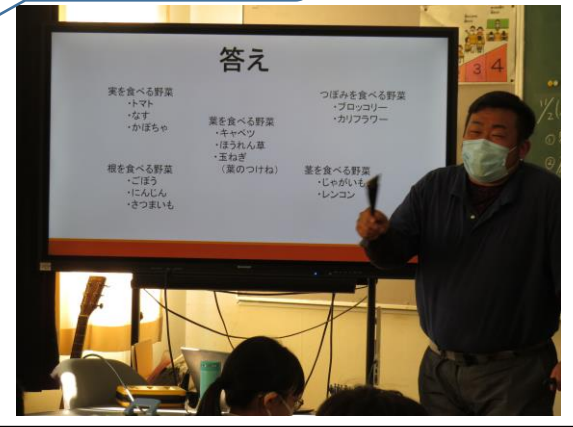


今から、果物と野菜とに分類してもらいます。

子どもたちは大変興味をもって学習に臨めました。

みなさんは、野菜や果物のどの部分を食べているのでしょうか？
タマネギは、葉っぱの付け根を食べています。
サツマイモは、根がふくらんでいるところを食べています。
ジャガイモは、地下茎と言って、茎を食べています。

ワークシートをしながら楽しく学習を進めました。



農家の人の思いや苦勞を教えてくださいました。

なぜ農薬が必要か？
・田んぼ、畑=自然ではない
⇒広い場所に一種類の作物を作る
→人間に好都合=病害虫にとっても好都合
⇒現在の品種は食味や収量など交配、育種を重ねることによってできたもの
→抵抗性の低下、防衛能力の低下
人間が管理してあげなければならない



農薬を使わないと収穫量が減ってしまいます。虫食いの収穫物も食べられますが、消費者は買いにくいです。
生産者は、安定的に野菜や果物を消費者に提供しないとイケません。それが、農家の使命です。
最近では、農薬を減らして、害虫の天敵を利用する方法も実施されています。例えば、イチゴにつくハダニに対して天敵の虫を振りかけて退治することがあります。農薬を使用するときは、きちんと計量カップで量って使用しています。できる限り農薬を使わなくていいようにも進んできています。

現在の日本の農業の問題として、水田が減ってきています。田んぼは、水をためる力があります。大雨の時に、洪水を起こさないようにダム機能も持っています。また、害獣の被害も多発しています。この辺りでは、アライグマの被害がよくあります。

農家の人の苦勞は、収穫の時期がズレたときに売り物にならないそうです。「ブロッコリーを育てていたときに、体調を崩してしまったら、既に花が咲いてしまいました。体を大事にしないとイケないと思いました。」と教えてくださいました。

農家の人たちの「安全・安心な食の提供」についての思いや苦勞をいっぱい学べた有意義な時間になりました。